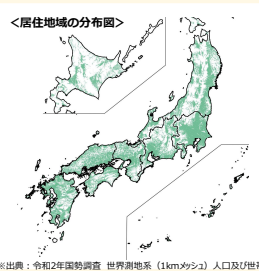
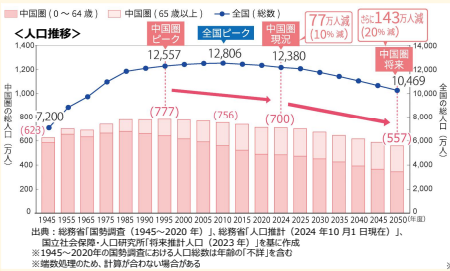


現状・課題

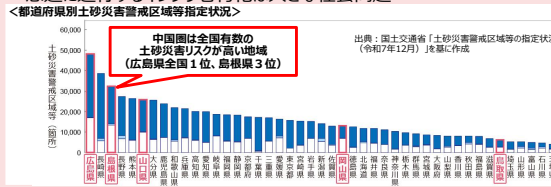
【暮らし】

・全国に先駆けた人口減少・高齢化
・分散型の地域構造を支える中山間・島しょ部等における個性ある小都市や地域の存続危機、移動手段の弱体化



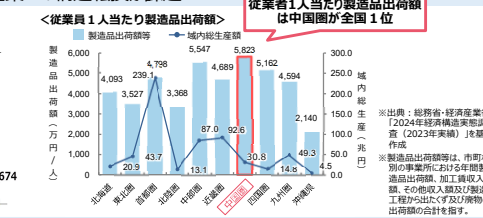
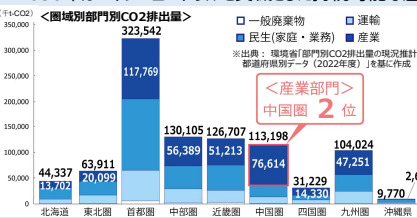
【安全・安心】

・度重なる土砂災害や河川氾濫による水害等の災害が激化・頻発化
・土砂災害警戒区域等が多く、豪雨等による土砂災害が発生しやすい
・急速に進行するインフラ老朽化は大きな社会問題



【産業・経済】

・コンピュータ等、集積するものづくり産業に強みがある一方で、大量のCO2を排出
・2050年カーボンニュートラルを契機とした持続可能な産業への構造転換が課題



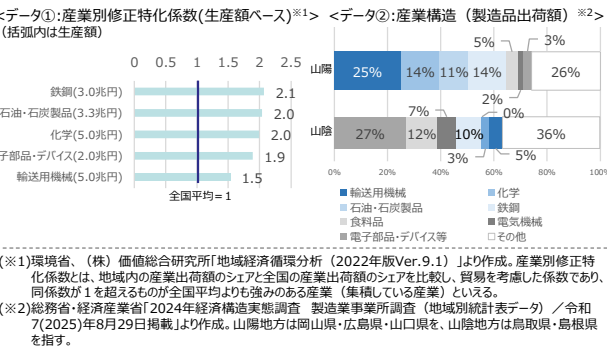
【グリーン国土】

・豊かで美しい四季折々の自然と地域特有の歴史・文化が醸成
・自然環境の保全・再生や歴史・文化の次世代への継承が課題



産業等の強みの客観的な把握

・中国圏は、産業別修正特化係数(生産額ベース) (データ①) をみると、「鉄鋼」、「化学」等の産業に強みを有しており、瀬戸内海沿岸地域を中心に鉄鋼、石油化学、造船・舶用工業、自動車、半導体等、日本海側地域には電子部品・デバイス等の産業集積がみられる。
・産業構造(データ②)について、山陽地方は、輸送用機械及び化学が製品出荷額全体の約4割を占める。他方で、山陰地方における製品出荷額の約4割は、電子部品・デバイス及び食料品が占めており、それぞれ特色がある。



将来像・目標

活躍人口の創出、地域資源が持つ力を最大限発揮し、あらゆるつながりを再構築・強化することで、持続的に成長させる

将来像と目標のマトリクス表。将来像(誰も自らの意思でライフスタイルを選択でき、活き活きと暮らし続けることができる中国圏)と目標(デジタル技術の活用や官民連携による個性を生かした地域生活圏の形成、重層的なネットワーク形成による圏域内外の対流促進)を、産業集積や災害対策、環境保全、インフラ整備などの施策と関連付けて示している。

広域連携プロジェクト

1. 中国圏発の地域生活圏形成プロジェクト
2. 「全国的な回廊ネットワーク」を支える重層的な交通ネットワーク形成プロジェクト
(事業例) 中国地方特有の分散型の地域構造を踏まえ、小都市を組み込んだ持続可能な圏域の形成等

3. 「ものづくり」の競争力強化と産業構造転換プロジェクト
4. 地域産業の成長化プロジェクト
(事業例) カーボンニュートラルを見据えた水素やアンモニア等の次世代エネルギーの導入、半導体等の世界的競争力を有する産業の拠点機能強化等

5. 連携と対流によるインバウンド及び広域観光促進プロジェクト
6. 総力戦で挑む防災・減災プロジェクト
(事業例) 多様な連携によるインバウンド及び広域観光の推進等

7. 戦略的インフラメンテナンス推進プロジェクト
8. 地域脱炭素化及び生物多様性保全推進プロジェクト
(事業例) 総力戦で取り組む次世代のインフラ老朽化対策の推進等

9. 歴史・文化の次世代継承プロジェクト
10. 他圏域との広域連携プロジェクト
(事業例) 各地の多彩な歴史・文化を官民連携等さまざまな手法で継承等



※本資料は、中国圏広域地方計画協議会及び中国圏広域地方計画学識者等会議における議論等を踏まえ、令和8年(2026年)●月時点での検討状況を整理したものである。